



 **Husqvarna**[®]



T535i XP[®]

目次

はじめに.....	2	トラブルシューティング.....	26
安全性.....	4	搬送、保管、廃棄.....	27
組立.....	12	主要諸元.....	28
Operation（操作）.....	13	アクセサリ.....	29
メンテナンス.....	18	適合宣言.....	31

はじめに

製品の説明

本製品は、電気モーターで動作するチェーンソーモデルです。

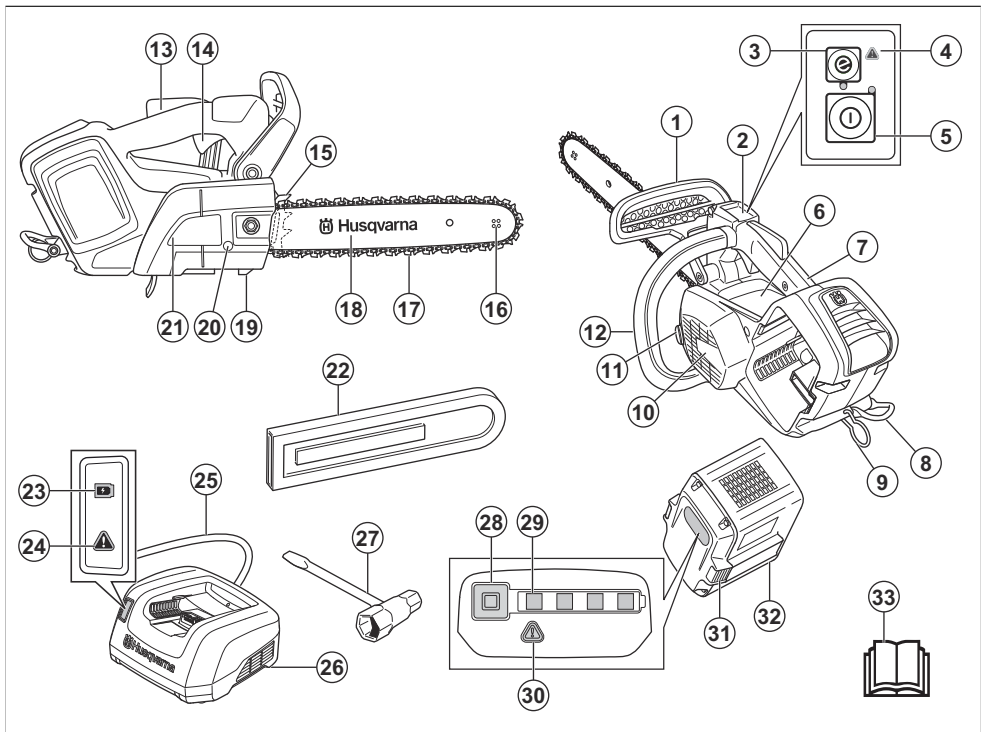
弊社では、皆様の安全と作業の効率性を向上させるため、常に製品の改善に力を入れています。詳しくは、サービス代理店までお問い合わせください。

用途

この製品は、剪定や樹木の分割など専門的な樹木の保全作業に使用します。

注記： 本製品の使用においては、国内の規制が課せられる場合があります。

製品の概要



1. フロントハンドガード
2. キーパッド
3. SavE ボタン
4. 警告インジケータ

5. スタート/ストップボタン
6. 情報と警告ラベル
7. トップハンドル
8. ベルトアイレット

9. ロープアイレット
10. ファンハウジング
11. チェンオイルタンク
12. フロントハンドル
13. パワートリガーロック
14. パワートリガー
15. スパイクバンパー
16. ノーズスプロケット
17. ソーチェン
18. ガイドバー
19. チェンキャッチャー
20. チェン張りネジ
21. ドライブスプロケットカバー
22. ガイドバーカバー
23. 充電 LED
24. 警告インジケータ
25. 電源ケーブル
26. バッテリー充電器
27. コンビレンチ
28. ボタン、バッテリーの状態
29. バッテリーの状態
30. 警告インジケータ
31. バッテリーリリースボタン
32. バッテリー
33. 取扱説明書

製品に表記されるシンボルマーク



作業中や付近にいる人の重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。十分に注意し、本製品を正しく使用してください。本製品を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みになり、指示内容をよく理解してください。



認可された保護ヘルメット、イヤマフ、および防護メガネを着用してください。



本製品は EC 指令適合製品です。

この製品は該当する UK 規制に準拠しています。



環境に対する騒音レベルは EC 指令と英国の指令および規制、ニューサウスウェールズの法規「Protection of the Environment Operations (Noise Control) Regulation 2017」に準拠しています。本製品の保証音

響レベルは次の場所とラベルに記載されています： **主要諸元 28** ページ。



足、脚、手、腕に、認可された保護具を使用してください。



本製品は両手で持って操作してください。



警告! ガイドバー先端に物体が接触すると、キックバックが発生する場合があります。それによりガイドバーが作業者の方向にはじかれます。重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。



ソーチェンの回転方向とガイドバーの最大長。



チェンブレーキ、作動 (右) チェンブレーキ、解除 (左)



チェンオイル



直流。

IPX4

水の飛沫から保護します。



環境マーク 本製品や本製品のパッケージは、一般廃棄物ではありません。電気・電子機器の認定済み処理業者にリサイクルを依頼してください。



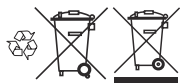
このソーは、樹木の保全作業の特別な訓練を受けた使用者だけが使用してください。取扱説明書を参照してください。

yyyyywwxxxxx

製造番号は銘板に記載されています。**yyyy** は製造年、**ww** は製造された週です。

注記： 本製品に付いている他のシンボル／銘板は、一部の市場地域に向けた認定条件を示します。

バッテリーやバッテリー充電器のシンボルマーク



電気・電子機器のリサイクル業者にリサイクルを依頼してください。(ヨーロッパにのみ適用)



バッテリー充電器は屋内でのみ使用、保管してください。



二重絶縁。



安全装置付き変圧器。

安全性

安全性の定義

各シグナルワードの重大度の定義は次のとおりです。



警告： 人身傷害。



注意： 製品の損傷。

注記： この情報は、本製品を使用しやすくするためのものです。

機器に関する一般的な安全上の警告



警告： 機器に付属する安全上の警告、注意事項、図、仕様をすべてお読みください。下記のすべての指示に従わない場合、感電、火災、重大な人身傷害につながるおそれがあります。

- すべての警告や指示は、後で参照するために保管してください。警告における「機器」とは、電源で動作する（コード付）機器またはバッテリー駆動（コードレス）の機器を指します。

作業エリアの安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ってください。雑然とした場所や暗い場所では事故が起こりやすくなります。
- 可燃性の液体、ガス、ほこりがある場所など、爆発性雰囲気のある場所で機器を操作しないでください。機器が火花を発生させ、ほこりや気体に引火するおそれがあります。
- 機器の操作中は子供や周囲の人から十分な距離をとってください。注意が散漫になって、操作ミスを引き起こす可能性があります。

電気保安

- 機器のプラグはコンセントに適合している必要があります。決してプラグを改造しないでください。アダプタープラグを、アース付きの（接地された）機器で使用しないでください。改造されていないプラグおよび型の同じコンセントを使用することで、感電のリスクが低くなります。
- パイプやラジエータ、レンジ、冷蔵庫など、アースの付いた表面または接地された表面に触れないようにしてください。身体がアースまたは接地されていると、感電リスクが高くなります。
- 機器を雨露や湿潤な環境にさらさないでください。機器に水が入ると、感電リスクが高まります。
- コードを本来の目的以外に使用しないでください。コードを持って機器を移動したり、引っ張ったり、電源を抜いたりしないでください。熱やオイル、とがった先端や可動部品にコードを近づけないでください。コードが損傷したり絡まると、感電リスクが高くなります。
- 屋外で機器を操作する場合は、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外での使用に適したコードを使用することで、感電の危険性は少なくなります。
- 湿気のある場所で機器を使用しなければならない場合は、電源を保護するために漏電遮断器（RCD）を使用してください。RCDの使用により、感電リスクが低減します。

個人の安全

- 機器を使用するときは、十分に気をつけて慎重に行動し、常識に従ってください。疲労時、医薬品やアルコールの影響が残っている状態で機器を使用しないでください。機器の操作中の一瞬の不注意が重大な人身傷害につながるおそれがあります。
- 身体保護具を使用してください。必ず防護メガネを着用してください。防塵マスクや滑り止め用の安全靴、ヘルメット、イヤマフなどのプロテクティブ装具を使用すると、負傷の危険性が少なくなります。
- 予期せぬ始動を防止してください。電源やバッテリーパックを接続したり、ツールを持ち運んだりする

前に、必ずスイッチがオフの位置にあることを確認してください。スイッチに指を置いて機器を運んだり、機器のスイッチが入った状態で給電したりすると、事故につながります。

- 機器の電源を入れる前に、調整キーやレンチを外してください。機器の回転部品にレンチやキーが取り付けられたままになっていると、負傷の原因になります。
- 無理な体勢で作業しないでください。常に、安定した足場とバランスを保つようにしてください。これにより、想定外の事態でも機器を安定して制御することができます。
- 適切な服装を心がけてください。ゆったりした衣服や装身具を身につけないでください。可動部品に髪の毛や衣服を近づけないでください。ゆったりした衣服や装身具、長髪は可動部品に絡まるおそれがあります。
- 集塵装置の接続用装備が提供されている場合、それらが接続されて正しく使用されているか確認してください。集塵装置を使用すると、塵に関連する危険を回避できます。
- ツールを頻繁に使用することによる慣れで、安全への関心を失ってツールの安全原則を無視することは非常に危険です。不注意な行動により、一瞬で重大な人身事故が発生するおそれがあります。

機器の使用と手入れ

- 機器に無理な力を加えないでください。用途に合った適切な機器を使用してください。適切な機器を使用することで、設計された速度でより良く安全に作業を行います。
- スwitchが機能しない場合は機器を使用しないでください。Switchで制御できない機器は危険なため、修理する必要があります。
- 機器の調整、アクセサリーの交換、機器の保管時は、電源プラグを外さず、機器からバッテリーパックを取り外してください（着脱可能な場合）。予防的な安全対策を行うことで、誤って機器を始動させる危険性が低下します。
- 使用していない機器は子供の手の届かない所に保管して、機器や機器の取り扱い方法に詳しくない人が操作しないようにしてください。不慣れたユーザーが機器を扱うと危険です。
- 機器とアクセサリーをメンテナンスしてください。可動部品の誤調整や巻き付き、部品の破損、その他、機器の動作に影響する状態がないか確認します。機器が損傷している場合は、修理してから使用してください。多くの事故は、機器のメンテナンス不良によって発生します。
- 切削工具は研いだ状態で清潔に保ちます。正しくメンテナンスされて研いだである切削工具は、バインドすることも少なく、制御が簡単です。
- 機器、アクセサリー、工具ビットなどは、作業条件と作業内容を考慮し、取扱説明書に従って使用してください。想定された用途と異なる作業に機器を使用すると、危険な状況を招くおそれがあります。
- ハンドル部および保持面は乾燥させて、オイルやグリースが付着しないようにきれいな状態を保ってください。ハンドルと保持面が滑りやすいと、予期し

ない状況でツールの安全な取り扱いや制御ができません。

バッテリーツールの使用と手入れ

- メーカー指定の充電器のみを使って充電してください。1種類のバッテリーパックのみに適合する充電器は、それ以外のバッテリーパックの充電で使用した場合、火災を起こす恐れがあります。
- 機器には、指定された専用バッテリーパックのみを使用してください。それ以外のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災を招く危険があります。
- バッテリーパックを使用しないときは、ペーパークリップ、コイン、キー、爪きり、ネジなどの金物、あるいは端子間を短絡するおそれがある他の小さな金物から遠ざけるようにしてください。バッテリー端子の短絡は、火傷や火災を引き起こす恐れがあります。
- 劣悪な環境では、液体がバッテリーから漏れ出すことがあります。そのような場合、液体には触れないようご注意ください。もし万が一誤って触れてしまった場合、水で洗い流してください。液体が目に入ってしまった場合、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れ出した液体は、炎症や火傷を引き起こすことがあります。
- 損傷した、または改造されたバッテリーパックやツールは使用しないでください。損傷した、または改造されたバッテリーは、予測不可能な挙動を起こし、発火や破裂、障害の原因となる可能性があります。
- バッテリーパックやツールを火や高温にさらさないでください。火または 130 °C (265 °F) を超える温度環境にさらすと爆発する恐れがあります。
- 充電の手順にすべて従い、指示された温度範囲外でバッテリーパックまたはツールを充電しないでください。充電を不適切に行ったり、指定された範囲から外れた温度環境で行ったりした場合、バッテリーの損傷や火災発生の危険の増加につながることがあります。

サービス

- 機器のサービスは、資格のある修理担当者が、同一の交換部品を使用して行ってください。そうすることで、機器の安全性が維持されます。
- 損傷したバッテリーパックを決して修理しようとしなくてください。バッテリーパックの修理は、製造元または認定サービス代理店しか行えません。

チェンソーに関する一般的な安全上の警告

- チェンソーの操作中は、体のあらゆる部分をソーチェーンから遠ざけるようにしてください。チェンソーを始動する前に、ソーチェーンが何にも接触していないことを確認してください。チェンソーの操作中は、一瞬の不注意が、ソーチェーンによる衣服や身体への巻き込み事故につながることがあります。
- 常に、トップハンドルを右手、フロントハンドルを左手で持ってチェンソーをしっかりと持ってください。逆の手でチェンソーを持つと怪我をする危険性が高まるため、この行為は絶対におやめください。
- ソーチェーンは隠れた配線に接触する可能性があるため、絶縁グリップ面だけを掴んでパワーツールを持

ってください。ソーチェンが「通電」している配線に接触することで、チェンソーの露出している金属部分が「通電」状態となることがあり、使用者が感電する危険性があります。

- 防護メガネを着用してください。さらに、聴覚、頭、手、脚と足用の身体保護具の着用を推奨します。適切な身体保護具を着用することで、飛び散る破片による怪我やソーチェンの接触事故を軽減できます。
- 梯子の上、屋根の上、その他支えが安定しない状態で、チェンソーを操作しないでください。このような状態でチェンソーを操作すると、重傷を負うおそれがあります。
- 張力のかかった枝を扱うときは、スプリングバックに注意してください。木材繊維の張力が解放されたとき、板ばねのようにになっている枝で使用者が直撃を受けたり、チェンソーが制御不能になって飛ばされたりすることがあります。
- チェンソーのスイッチを切って、体から離れた状態で、フロントハンドルを持って運んでください。チェンソーの輸送や保管を行う際は、ガイドバーカバーを常に取り付けてください。チェンソーを正しく取り扱うことで、動いているソーチェンとの不用意な接触の危険性を減らすことができます。
- 潤滑、チェンの張力調整、およびバーやチェンの交換については、指示に従ってください。チェンの張り具合や潤滑が不適切であると、チェンが損傷したり、キックバックの危険性が増したりする恐れがあります。
- 樹木や材木のみを切断してください。意図されていない用途にチェンソーを使用しないでください。たとえば、プラスチック、石材、その他木材以外の建材の切断には、チェンソーを使用しないでください。意図されていない用途にチェンソーを使用すると、危険な状況が生まれることがあります。
- このチェンソーは伐倒を目的としたものではありません。意図されていない用途にチェンソーを使用すると、作業者または付近の人が重傷を負うおそれがあります。
- 詰まりを取り除く場合や、チェンソーの保管または整備を行う場合は、手順を守ってください。スイッチがオフになっている、バッテリーパックが取り外されていることを確認します。詰まった物質を取り除く際、または整備作業中に、チェンソーが予期せず作動すると、重大な人的傷害につながるおそれがあります。

キックバックの原因と使用者による防止方法

キックバックは、ガイドバー先端に何かが接触したとき、あるいは、樹木が近づくすぎて、切断中のソーチェンに巻き込まれたときなどに発生します。先端が障害物に触れると、反動の力が突然発生し、ガイドバーが上方向または使用者に向かって勢い良く戻ってきます。ガイドバーの上部に沿ってソーチェンに何かが挟まると、ガイドバーが使用者へ向かって急激に押し戻されます。これらの反動による動作はいずれも、チェンソーの制御を不可能にして、深刻な人的傷害を招くことがあります。チェンソーに搭載されている安全装置を頼り過ぎないようにしてください。チェンソーの使用にあたっては、事故や怪我なく切断作業を行うために、いくつかの段階を踏む必要があります。キックバックは、チェンソーの誤った

使用あるいは不適正な操作手順や操作条件などの結果生じるものであり、以下に示す正しい予防措置を講じることで避けることが可能です。

- 親指と他の指で取り囲むようにしっかりとチェンソーのハンドルを握ります。キックバック力に耐えられるように、両手でチェンソーを持ちながら、体と腕の位置を決めてください。適切な予防措置を講じれば、使用者がキックバックを制御できます。チェンソーを離さないでください。
- 無理な体勢で作業したり、肩の高さよりも上の位置の物体を切断したりしないでください。こうすることで、先端が偶発的に何かに接触するのを防ぐことができ、不測の事態でもチェンソーを適切に制御することが可能になります。
- 交換用ガイドバーとソーチェンは、ハスカーバーの指定品のみを使用してください。不適正なガイドバーやソーチェンに交換した場合、チェンの損傷やキックバックが起こることがあります。
- ソーチェンの目立てやメンテナンスについては、本書の記載にしたがってください。デブスグージの高さの減少は、キックバックの増加につながります。

以下の指示は、大切に保管してください。

一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品は、慎重かつ適切に使用しないと、危険な道具となります。本製品により、操作者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。
- メーカーの承認なしに本製品を改造しないでください。他者が改造した製品を使用しないでください。また、必ず純正のアクセサリを使用してください。認定されていない改造は、作業者や付近にいる人の重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。
- チェンオイルの蒸気や切りくずを長期間吸引していると、健康を害する場合があります。
- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な重傷や死亡の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を使用する前に主治医および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。

操作のための安全注意事項

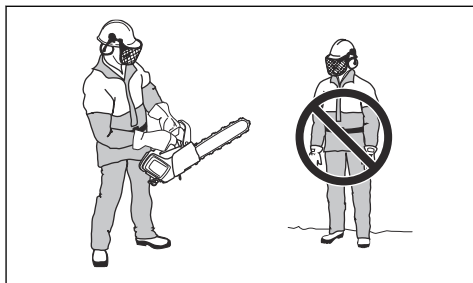


警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

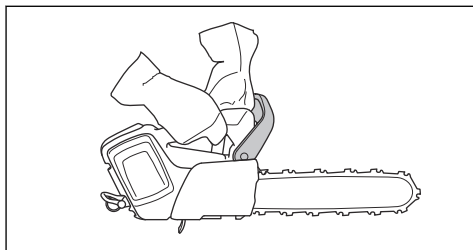
- 本取扱説明書に記載の情報は、専門家の技術や経験に代わるものではありません。本製品の操作に不安

がある場合は、専門知識や経験のある人にご相談ください。

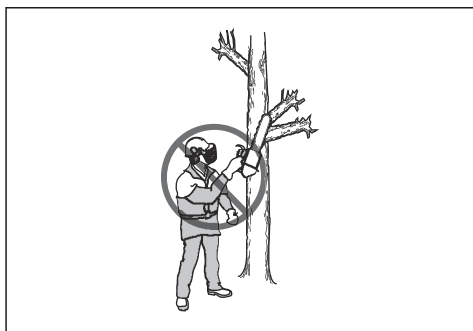
- 本製品の操作について質問がある場合は、サービス代理店または **Husqvarna** にご相談ください。本製品を適切に、安全に操作する方法をご説明します。可能であればチェーンソーの操作方法のトレーニングクラスを受講してください。サービス代理店、林業学校、図書館などで、トレーニング資料や講習などについての情報が提供されています。
- 本製品は制御不能になると危険性が増します。木に登って本製品を使用する際は、必ず鋸断技術や作業技術の特別なトレーニングを受けた作業者が実施してください。作業者は、リフト、ロープ、安全ハーネスなどの安全装置を装備する必要があります。地上で行うあらゆる作業には、標準的なチェーンソーの使用をお勧めします。
- 負傷の危険性を抑えるために、特殊な鋸断技術や作業技術に関する指示に従ってください。木に登って作業するための専門的な訓練を受けていない限り、木の上で作業を行わないでください。この訓練には、安全な木登り技術や作業位置の習得が含まれます。ハーネス、ロープ、ベルト、アイゼン、カラビナなどの装具の使用方法を習得する必要があります。
- ガイドバー先端のキックバックゾーンを使用して鋸断しないでください。
- 回転しているソーチェンに触れないでください。重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。
- 作業者が 1 本のロープしか装着していない場合は、落下する断片を受け止めようとしていたり鋸断したりしないでください。必ず安全ロープを 2 本使用してください。
- 伐倒作業では、切断作業の完了後すぐにイヤマフを外してください。音や警告信号が聞こえるようにしてください。
- 本製品を使用する前に、キックバックの影響と、防止方法について理解する必要があります。参照：キックバックについて **14** ページおよび キックバックに関するよくある質問 **14** ページ詳細をご覧ください。
- 損傷している、または正しく動作しない製品、バッテリー、バッテリー充電器は使用しないでください。
- 疲労時、疾病時、アルコールや医薬品の影響が残っているときは、本製品を使用しないでください。視野、注意力、判断力、動作に悪影響を及ぼすような状態のときは、本製品を使用しないでください。作業時間が終了する前に疲労してしまう危険性が増します。
- ガイドバーやソーチェン、カバー類がすべて正しく装着されていない状態では、本製品を始動しないでください。正しく装着されていない状態で始動すると、ドライブスプロケットが外れて、重症を負うおそれがあります。参照：組立 **12** ページ詳細をご覧ください。
- 木くずがクラッチカバーに詰まって、ソーチェンが動かなくなることがあります。清掃する前は、必ずエンジンを停止してください。
- 本製品を操作する際、人や動物が触れたり干渉したりする危険がないことを確認してください。



- 慎重に扱わないと、キックバックの危険が高まります。ガイドバーのキックバックゾーンが誤って枝や木などに当たると、キックバックが発生するおそれがあります。
- 本製品は片手で操作しないでください。片手では本製品のコントロールが十分にできません。
- 本製品を持つときは、必ず右手でトップハンドルを、左手でフロントハンドルをしっかり握ってください。親指とその他の指でハンドルを握ります。これによりキックバックの影響を抑え、本製品をコントロールすることができます。ハンドルから手を放さないでください。

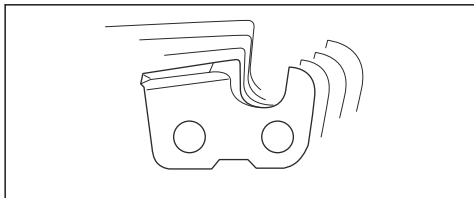


- 足場が安定し、ソーチェンが何にも触れていないことを確認してください。
- 本製品を肩よりも高い位置で使用しないようにし、ガイドバー先端で鋸断しないでください。

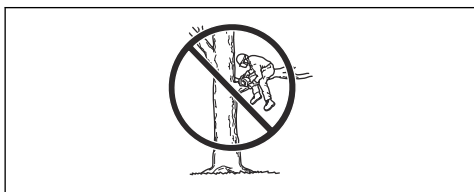


- 剪定や枝払いの特別な訓練を受けていない場合は、これらの作業をしないでください。
- 適合しない、または適切に目立てされていないカッティング装置を使用して切断すると、振動レベルが上がります。硬木（広葉樹など）を切断するときは、

軟木（針葉樹など）を切断するより振動が大きくなります。



- 循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ピリピリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。通常、指、手、手首に発生するこれらの症状は、低温の環境下でよく起こります。
- 自分の能力で対応できない状況での作業は避けてください。
- 作業中に起こりうるあらゆる状況をすべて予測することは不可能です。常に常識に基づいて注意して使用してください。



- バッテリーは -10~40°C (14~104°F) の温度で使用してください。

身体保護具



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。



- チェーンソー事故の大半は、ソーチェーンが使用者に当たった際に発生します。作業中は、認可されたプロテクティブ装具を着用する必要があります。プロテクティブ装具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。使用が推奨される

装具については、サービス代理店にお問い合わせください。

- びったりとした、ただし動きを制限しない服を着用する必要があります。定期的にプロテクティブ装具の状態を確認してください。
- 認可された防護ヘルメットを着用してください。
- 認可されたイヤマフを使用してください。長時間騒音にさらされると、回復不能な聴覚障害になる可能性があります。
- 認可された保護メガネあるいはバイザーを着用し、飛散する物体で負傷しないようにしてください。本製品は、木くず（小さな木片）などの物体を強い力で飛散させます。これにより重傷を負うことがあります。特に目の怪我の原因になることがあります。
- チェーンソー用保護手袋を着用してください。
- チェーンソー用保護ズボンを着用してください。
- つま先にスチールキャップの入った、滑りにくい靴底のチェーンソー用保護ブーツを着用してください。
- 常に救急箱を手元に準備しておいてください。
- 火花の発生による危険。森林火災を防止するため、消火器とシャベルを用意してください。

本製品の安全装置

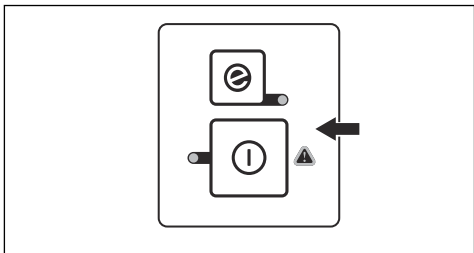


警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 損傷している、または正しく動作していない安全装置を取り付けた状態で、製品を使用しないでください。
- 安全装置は定期的に点検してください。参照： 製品の安全装置のメンテナンスと点検 19 ページ。
- 安全装置が損傷している、または正しく動作していない場合は、Husqvarna サービス代理店にお問い合わせください。

キーパッド

チェンブレーキが作動するか、過負荷の危険がある場合、警告インジケータが点滅します。過負荷保護が作動すると、製品は一時的に停止し、温度が戻るまで使用できなくなります。インジケータが点灯している場合は、サービス代理店にお問い合わせください。



自動停止機能

本製品には自動停止機能が搭載されており、3分以上使用しないと停止します。

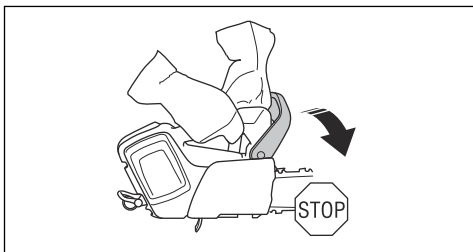
チェンブレーキとフロントハンドガード

本製品にはチェンブレーキが備わっており、キックバックが発生するとソーチェーンが停止します。チェンブレーキは事故発生の危険性を軽減しますが、何よりも大切なのは慎重な取り扱いです。

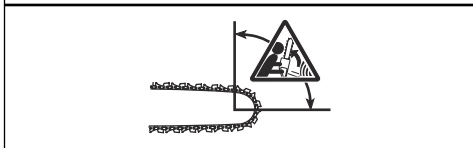
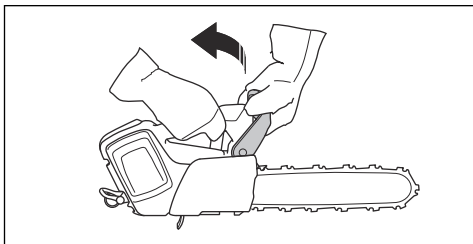


警告： キックバックが発生する危険のある状況を作らないでください。本製品を慎重に使用し、ガイドバーのキックバックゾーンが物に触れないように気を付けてください。

チェンブレーキは、手動（左手を使う）またはイナーシャ機構により自動でかかります。フロントハンドガードを前方に押して、チェンブレーキをかけます。この動きによってパネを使用した機構が始動し、ドライブスプロケットが停止します。

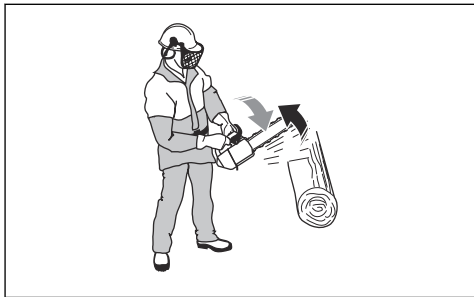


フロントハンドガードを後方に引いて、チェンブレーキを解除します。

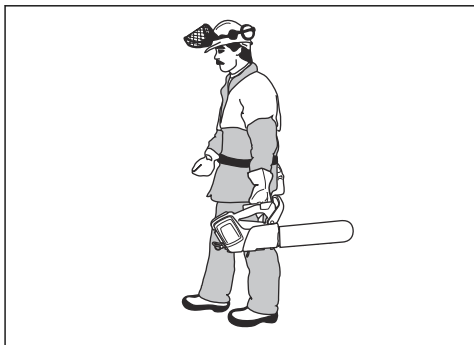


チェンブレーキの動作は、キックバックの強さと本製品の位置によって異なります。キックバックゾーンが身体から最も離れた位置にあるときに非常に強いキックバックが起こった場合、イナーシャ機構によりチェンブレーキがかかります。キックバックの力が弱く、キックバ

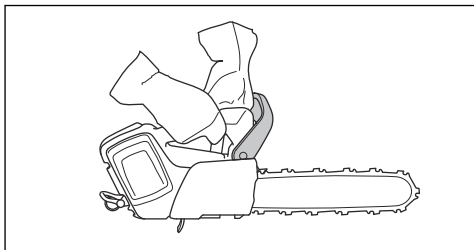
ックゾーンが身体に近い場合は、左手で手動でチェンブレーキをかけます。



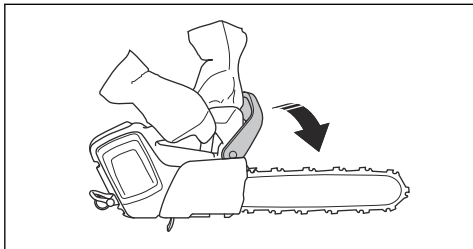
本製品を始動するときや、短距離を移動するとき、サイドブレーキのようにチェンブレーキを使用します。これにより、自身や周りにいる人にソーチェーンが接触する危険性を低減できます。



キックバックは突然、強い力で起こることがあります。キックバックのほとんどは弱いもので、いつもチェンブレーキが自動的にかかるとは限りません。本製品の使用中にキックバックが発生した場合は、ハンドルをしっかりと握って、放さないでください。



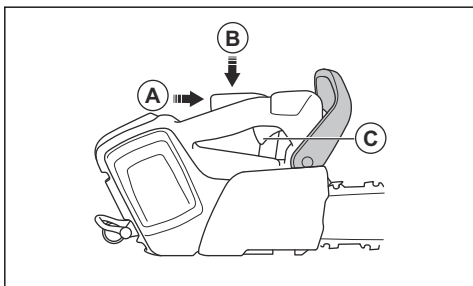
フロントハンドガードは、手がフロントハンドルから離れた際にソーチェンが接触するリスクを低減します。



伐倒ポジションでは、手動でチェンブレイキをかけることができません。このポジションでチェンブレイキをかけられるのは、イナーシャ機構だけです。

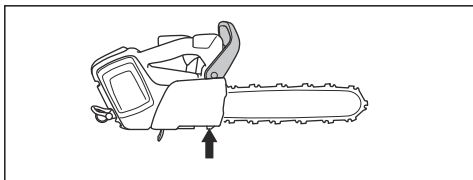
パワートリガーロック

パワートリガーロックは、パワートリガーの操作ミスを防ぐためのものです。パワートリガーロックを前方 (A) に押し、次にハンドルの方 (B) に押し込むと、パワートリガー (C) が解放されます。ハンドルから手を放すと、パワートリガーとパワートリガーロックは元の位置に戻ります。



チェンキヤッチャー

ソーチェンが破損したり外れたりした場合は、チェンキヤッチャーがソーチェンを受け止めます。チェンの張りが適切な場合は、そのような危険性は低減します。ガイドバーとソーチェンを適切にメンテナンスすることで、危険が減少します。詳しくは、「組立 12 ページ」および「メンテナンス 18 ページ」を参照してください。



バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- お使いの製品に推奨されている BLi バッテリーのみを使用してください。参照：認可されたバッテリー 30 ページ。バッテリーはソフトウェアで暗号化されています。
- 再充電可能な BLi バッテリーのみを、対応する Husqvarna 製品の電源として使用してください。参照：認可されたバッテリー 30 ページ。負傷を防ぐため、このバッテリーを他の装置の電源として使用しないでください。
- 感電するおそれがあります。バッテリーの端子を鍵、ネジ、その他の金属に接触させないでください。バッテリーが短絡する原因になります。
- 再充電できないバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーのエアスロットに物が入らないようにしてください。
- バッテリーは直射日光や熱、裸火から保護してください。バッテリーによりやけどや化学熱傷を負うおそれがあります。
- バッテリーは雨から遠ざけて、濡れない状態に維持してください。
- バッテリーはマイクロ波や高圧から保護してください。
- バッテリーを分解したり壊したりしないでください。
- バッテリー液が皮膚に触れないようにしてください。バッテリー液は、皮膚の負傷、荒れ、火傷の原因になります。目にバッテリー液が入った場合、目をこすらずに水で 15 分以上洗浄してください。バッテリー液が皮膚に触れた場合は、大量の水と石けんで皮膚を洗う必要があります。医師にご相談ください。
- バッテリーは -10 ~ 40 °C (14 ~ 104 °F) の温度で使用してください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器は、水で洗浄しないでください。参照：バッテリーとバッテリーホルダーの点検方法 20 ページ。
- 損傷したバッテリーや正しく動作しないバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーはくぎ、ネジ、または宝飾品などの金属から離れて保管してください。
- バッテリーは子供が近づけない場所に保管してください。

バッテリー充電器の安全性



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 安全注意事項を守らないと、感電や短絡の危険があります。

- ・ 認可された、破損のない主電源ソケットを、接地された状態で使用してください。
- ・ 製品の付属品以外のバッテリー充電器は使用しないでください。Husqvarna 交換用バッテリー BLi を充電するときは、Husqvarna QC 充電器のみを使用してください。
- ・ バッテリー充電器を分解しないでください。
- ・ 損傷したバッテリー充電器や正しく動作しないバッテリー充電器は使用しないでください。
- ・ 電源コードを持ってバッテリー充電器を持ち上げないでください。主電源ソケットからバッテリー充電器を取り外す際は、プラグを引っ張ってください。電源コードを引っ張らないでください。
- ・ すべてのケーブルと延長コードが、水や油、または尖った物に接触しないようにしてください。ドア、フェンスなどの間に、ケーブルが挟まっていないことを確認してください。
- ・ 可燃性の物質や、腐食の原因となる物質の近くでは、バッテリー充電器を使用しないでください。バッテリー充電器の上に覆うものが何もないことを確認してください。煙や火災が発生した場合、バッテリー充電器の電源プラグをコンセントから引き抜いてください。
- ・ バッテリーは、通気がよく直射日光が当たらない屋内でのみ充電してください。屋外でバッテリーを充電しないでください。濡れた状態でバッテリーを充電しないでください。
- ・ バッテリー充電器は、温度が 5~40 °C (41~104 °F) の場所だけで使用してください。充電器は、通気がよく、埃がない、乾燥した環境で使用してください。
- ・ バッテリー充電器の冷却スロットに物が入らないようにしてください。
- ・ バッテリー充電器が短絡するため、充電器の端子を金属物体へ接触させないでください。
- ・ 認可された、破損していない壁コンセントを使用してください。

メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- ・ メンテナンス、その他の点検、または製品の組み立てを行う前に、バッテリーを取り外してください。
- ・ 作業者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。メンテナンスおよびさまざまなサービスについては、サービス代理店にお問い合わせください。
- ・ バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗浄したりしないでください。強い洗剤を使用すると、プラスチックの部品が損傷する場合があります。
- ・ メンテナンスを実施しないと、製品の寿命が短くなり、事故の危険性が増します。
- ・ 特に本製品の安全装置については、すべての整備と修理の作業に特殊な訓練が必要です。メンテナンスを実施した後、この取扱説明書の点検項目の中に不合格の項目があった場合は、サービス代理店にお問

い合わせください。当社は、お客様の製品のために、プロフェッショナルな修理と整備を提供することを保証します。

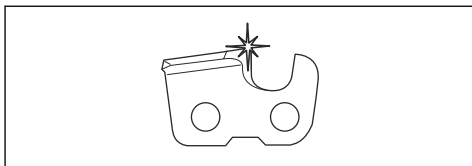
- ・ 純正の交換部品のみを使用してください。

カッティング装置の安全注意事項

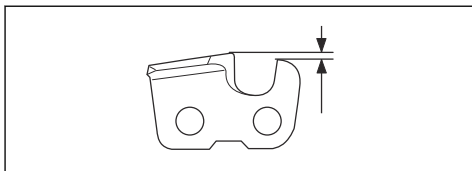


警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

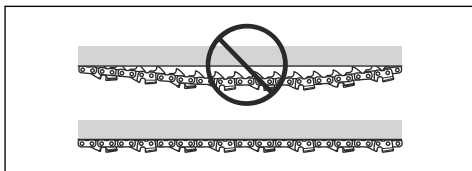
- ・ 認可されたガイドバー／ソーチェンの組み合わせと目立て装置のみを使用してください。手順については、「アクセサリ 29 ページ」を参照してください。
- ・ ソーチェンを使用したりメンテナンスを実施したりするときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも怪我をする場合があります。
- ・ 刃の目立てを正しく行ってください。指示に従って、推奨された目立てゲージをご使用ください。破損している、または誤って目立てされたソーチェンを使用すると事故の危険性が高まります。



- ・ デプスゲージの設定を正しく守ってください。指示に従い、推奨されているデプスゲージの設定を使用してください。デプスゲージの設定が大きすぎると、キックバックの危険性が高まります。

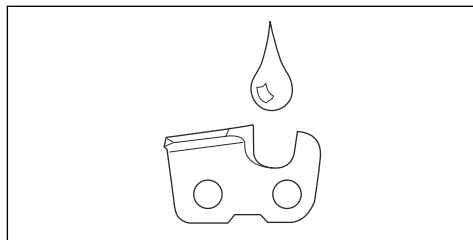


- ・ ソーチェンに適切な張りがあることを確認します。ソーチェンがガイドバーにしっかり取り付けられていないと、ソーチェンが外れる場合があります。ソーチェンを正しく張らないと、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブスプロケットの摩耗が早まります。ソーチェンの張りの調整方法 23 ページを参照してください。



- ・ カッティング装置を定期的にメンテナンスして、適切に注油してください。ソーチェンが正しく注油さ

れていないと、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブスプロケットの摩耗が早まります。



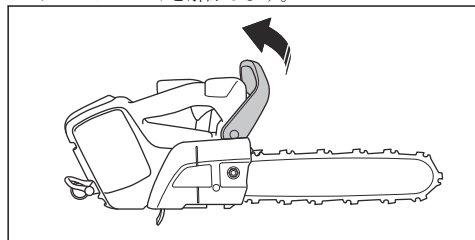
組立

ガイドバーとソーチェンの組み立て

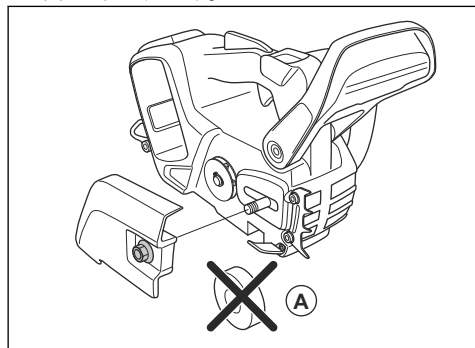


警告： 本製品の組み立て、またはメンテナンスを実行する前に必ずバッテリーを外してください。

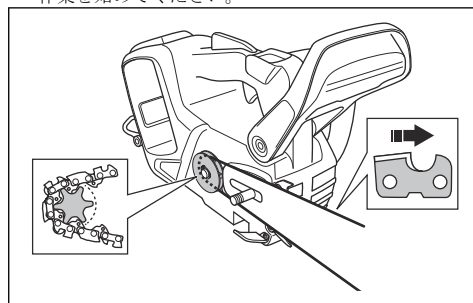
1. チェンブレーキを解除します。



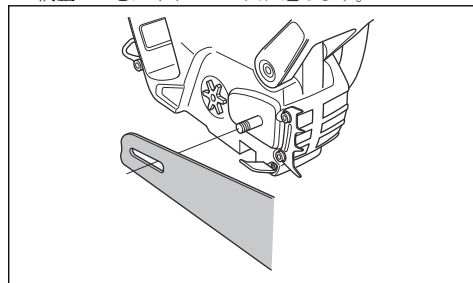
2. パーナット、ドライブスプロケット、搬送リング (A) を取り外します。



3. パーボルトの上にガイドバーを取り付けます。ガイドバーを最後部の位置まで移動します。ソーチェンをドライブスプロケットの上まで持ち上げて、ガイドバーの溝にはめます。ガイドバーの上端から装着作業を始めてください。



4. カッターリンクの刃がガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。
5. ドライブスプロケットカバーを組み付けて、チェーン調整ピンをガイドバーの穴に通します。



6. ソーチェンのドライ布林クがドライブスプロケットに正しく取り付けられていることを確認します。
7. ソーチェンが正しくガイドバーの溝にはまっていることを確認します。
8. パーナットを指できつく締めます。
9. ソーチェンを張ります。詳しくは、「ソーチェンの張りの調整方法 23 ページ」を参照してください。

Operation (操作)

はじめに

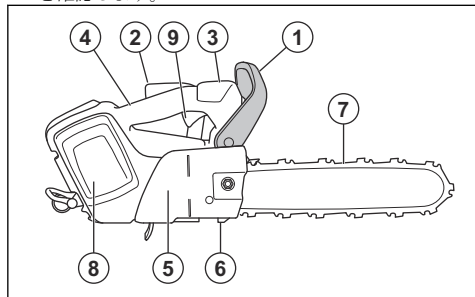
チェーンオイルの選び方については、お近くのサービス代理店にご相談ください。



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

製品使用前の機能チェック

1. チェンブレイキを点検し、正常に作動するか、損傷がないか確認します。
2. パワートリガーロックを点検し、正常に作動するか、損傷がないか確認します。
3. キーパッドが正しく動作するか確認します。
4. ハンドルにオイルが付着していないか確認します。
5. すべての部品が正しく取り付けられており、損傷や不足がないことを確認します。
6. チェンキャッチャーを点検し、適切に取り付けられていることを確認します。
7. チェンの張り具合を点検します。
8. バッテリーが充電されており、製品に正しく取り付けられていることを確認します。
9. パワートリガーを放すとソーチェーンが停止することを確認します。



正しいチェーンオイルの使用方法



警告： 人体や環境に害を及ぼすため、廃油は使用しないでください。また、廃油はオイルポンプ、ガイドバー、ソーチェーンを損傷させるおそれがあります。



警告： カutting装置の潤滑が十分でない場合、ソーチェーンが破損する可能性があります。作業者が重傷を負ったり、死亡事故につながったりするおそれがあります。



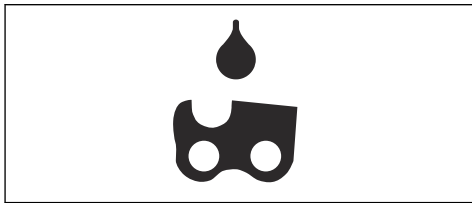
警告： この機能が正常に作動するように、適切なチェーンオイルを使用してください。

- ソーチェーンの寿命や環境保護のために Husqvarna 製のチェーンオイルを使用してください。Husqvarna 製のチェーンオイルを入手できない場合は、標準的なチェーンオイルの使用をお勧めします。
- ソーチェーン表面に滑らかな皮膜を形成するチェーンオイルを使用してください。
- 外気温に合う適正な粘着性のチェーンオイルを使用してください。



注意： 0°C 未満の温度では、一部のチェーンオイルは粘度が高くなりすぎて、オイルポンプ構成部品が損傷するおそれがあります。

- 推奨されているカutting装置を使用してください。アクセサリー 29 ページを参照してください。
- チェンオイルタンクのキャップを取り外します。
- チェンオイルタンクにチェーンオイルを充填します。
- キャップをしっかりと取り付けます。



注記： 製品のチェーンオイルタンクの位置を確認するには、製品の概要 2 ページを参照してください。

バッテリー充電器を接続するには

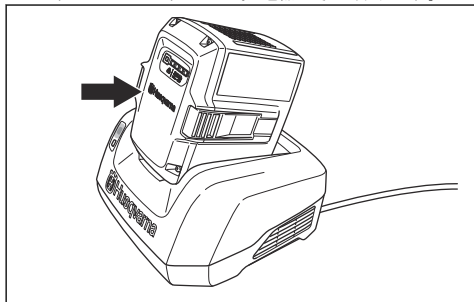
1. 定格プレートで指定されている電圧と周波数の電源にバッテリー充電器を接続してください。
2. 接地された壁コンセントにプラグを差し込みます。バッテリー充電器の LED が一度緑色で点滅します。

注記： バッテリーの温度が 50 °C (122 °F) を超えると、バッテリーは充電されません。温度が 50 °C (122 °F) を超えた場合は、バッテリーの温度が下がってから充電器による充電が開始されます。

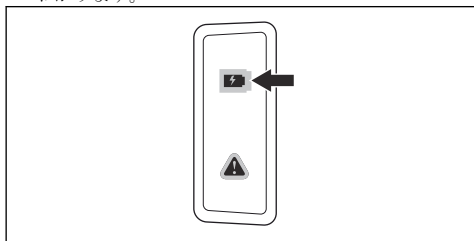
バッテリーとバッテリー充電器を接続するには

注記： 初めてバッテリーを使用する場合は、バッテリーを充電してください。新品のバッテリーは 30 % しか充電されていません。

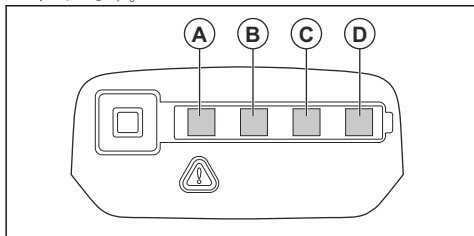
1. バッテリーが濡れていないことを確認してください。
2. バッテリーをバッテリー充電器に取り付けます。



3. バッテリー充電器の緑の充電ライトが点灯していることを確認してください。これにより、バッテリーがバッテリー充電器に正しく接続されていることがわかります。



4. バッテリーの LED がすべて点灯したら、フル充電されています。



5. 主電源ソケットからバッテリー充電器を取り外す際は、プラグを引っ張ってください。ケーブルを引っ張らないでください。
6. バッテリー充電器からバッテリーを外します。

注記： 詳細については、バッテリーおよびバッテリー充電器の取扱説明書を参照してください。

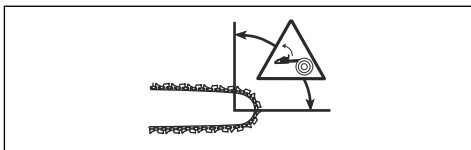
キックバックについて



警告： キックバックにより作業者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。リスクを軽減するには、キッ

クバックの原因とその回避方法を理解しておく必要があります。

キックバックは、ガイドバーのキックバックゾーンに物体が接触したときに起こります。キックバックは突然発生し、製品本体が作業者に向かって跳ね返ってくることがあります。



キックバックは、常にガイドバーの切削面で起こります。通常、本体は作業者に向かって跳ね返りますが、別の方向に向かう場合もあります。キックバック発生時に本製品をどのように使用していたかによって、キックバックの動きの方向が決まります。



バー先端の半径が小さいと、キックバックの力が小さくなります。

キックバックの発生を減らすには、低キックバックソーチェーンを使用してください。キックバックゾーンに何も接触しないようにしてください。



警告： キックバックが発生しないソーチェーンはありません。指示に必ず従ってください。

キックバックに関するよくある質問

- キックバックが起きた場合、必ず手動でチェーンブレーキをかけることができますか？

いいえ。フロントハンドガードを前方に押すために、ある程度の力を使う必要があります。必要な力がかからない場合、チェーンブレーキはかかりません。作業中は両手でしっかりと製品のハンドルを持ってください。キックバックが発生すると、チェーンブレーキがソーチェーンを止められず、ソーチェーンが人体に接触する可能性があります。また、手がフロントハンドガードに触れず、チェーンブレーキをかけられない位置もあります。

- キックバックが起きた場合、必ずイナーシャ機構でチェンブレイキをかけることができますか？

いいえ。まずはチェンブレイキが正しく機能する必要があります。チェンブレイキの点検方法の詳細については、「製品の安全装置のメンテナンスと点検 19 ページ」を参照してください。本製品を使用する前に、毎回実行することをお勧めします。次に、チェンブレイキがかかるには、キックバックが強い力で起こる必要があります。チェンブレイキの感度が高すぎると、負荷の高い作業の際にチェンブレイキがかかりやすくなります。

- キックバック発生時にチェンブレイキをかけると必ず使用者の怪我を防ぐことができますか？

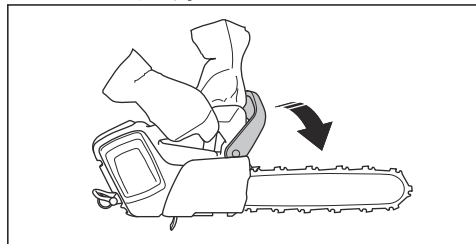
いいえ。怪我を防ぐには、チェンブレイキが適切に動作する必要があります。キックバック発生時には、チェンブレイキも使用してソーチェンを停止させる必要があります。作業者の身体がガイドバーに近い場合、チェンブレイキによるソーチェンの停止が間に合わずに、作業者にソーチェンが当たる可能性があります。



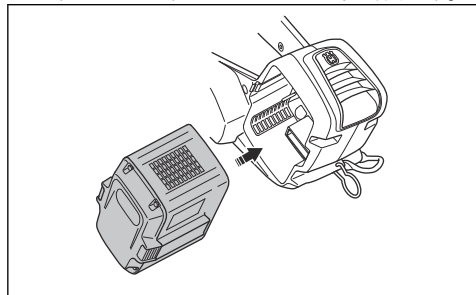
警告： 使用者が正しい操作方法で使った場合にのみ、キックバックを防ぐことができます。

本製品の始動方法

1. パワートリガーとパワートリガーロックを点検します。参照：パワートリガーロックの点検 20 ページ。
2. フロントハンドルガードを前方に押して、チェンブレイキをかけます。

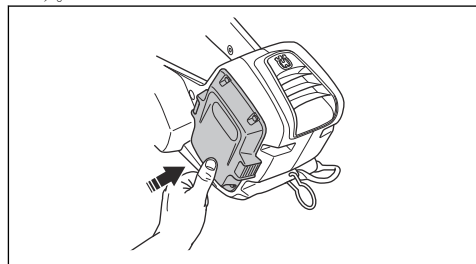


3. バッテリーをバッテリーホルダーに取り付けます。



注意： バッテリーがバッテリーホルダーにしっかりと取り付けられていることを確認してください。バッテリーがバッテリーホルダーにスムーズに入らない場合は、バッテリーの位置が正しくありません。

4. カチッと音がするまで、バッテリーの下部を押します。



5. 緑色の LED ランプが点灯するまで、START/STOP ボタンを押します。



警告： 木の上で本製品を始動する際は、本製品を環索のほうへ降ろす前にチェンブレイキをかけてください。

SavE 機能を有効にするには

SavE 機能を使用するとチェーンの速度は遅くなり、本製品の出力が低下します。

1. SaveE ボタンを押します。緑色の LED が点灯します。
2. もう一度 SavE ボタンを押すと、SavE 機能が停止します。緑色の LED が消灯します。

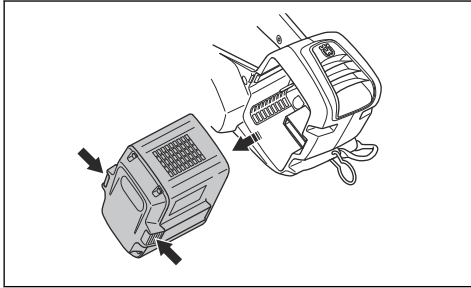


本製品の停止方法

1. 緑色の LED ランプが消灯するまで、スタート/ストップボタンを押し続けます。



2. バッテリーリリースボタンを押して、バッテリーをバッテリーホルダーから取り外します。



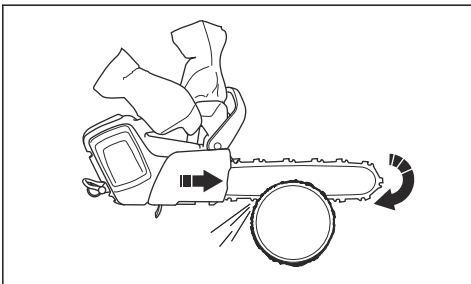
作業テクニックの概要

以下は、本製品の使用方法の概要の一部です。

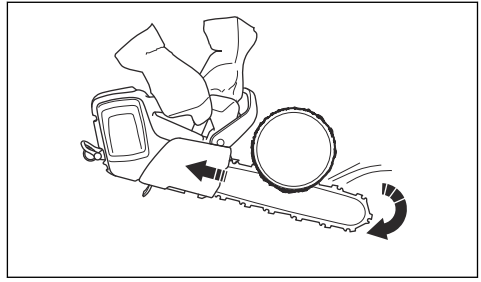


警告： 本取扱説明書に記載されている操作方法に関する情報は、この樹木作業用製品の操作トレーニング用ではありません。本製品は、必ず特殊なトレーニングを受けた樹木管理作業者が使用してください。適切なトレーニングを受けずに使用すると、重傷を負うおそれがあります。確信をもてない作業は行わないでください！

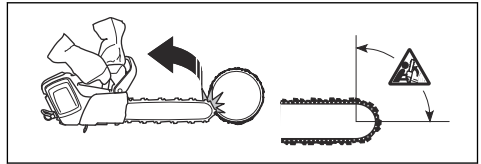
- 引き切りで切断するには、ガイドバーの下部で切断します。切断するとき、ソーチェンが木を引き寄せます。この位置で、本製品とキックバックゾーンの位置をうまく制御できます。



- 押し切りで切断するには、ガイドバーの上部で切断します。ソーチェンが作業者の方向に製品を押しします。



警告： 押し切りで切断する場合は、注意してください。ソーチェンが幹に引っかかると、製品が作業者に向かって押し出されます。この力を抑える必要があります。そうしないと、ガイドバーのキックバックゾーンが木に接触する危険があります。これにより、キックバックが起きます。



- 最大出力で鋸断してください。
- 切り終わるごとにパワートリガーを放してください。



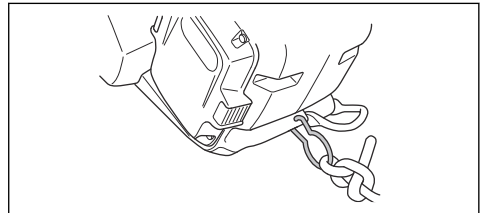
注意： モーターに負荷をかけずに最大出力で長時間作動させると、モーターが損傷することがあります。例えば、切断時にソーチェンに抵抗がかからない状態です。

本製品を木の上で使用するための準備

地上作業者

地上作業者は、次の手順を実行します。

1. 製品を点検します。
2. バッテリーを充電してください。
3. 認可済みの安全ストロップの端をロープアイレットに取り付けます。



注記：安全ストロップは、本製品を落とした場合に地面に落下することを防ぎます。

- 安全ストロップのもう一方の端にカラビナがあることを確認します。
- 本製品を始動します。
- 本製品を停止します。
- チェンブレーキをかけます。
- 木の上にいる作業者の位置まで本製品を吊り上げます。引き上げツールを使用します。

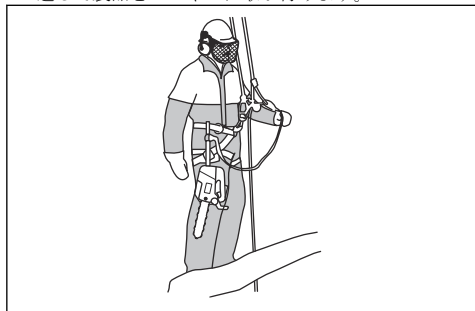


警告：木の上にいる作業者の位置まで本製品を吊り上げる際は、製品が安全に取り付けられていることを確認してください。

樹上作業者

樹上作業者として、次の手順を実行します。

- 引き上げツールから安全ストロップを外す前に、本製品をハーネスに取り付ける必要があります。ベルトアイレットか安全ストロップのスチールリングを通して製品をハーネスに取り付けます。



警告：ハーネスの推奨される固定ポイントの1つに安全ストロップを取り付けます。



警告：安全ストロップだけを使用して製品をハーネスに取り付ける場合は、安全ストロップで製品を完全に下へ降ろします。本製品を高い位置から落とさないでください。

- 認可済みカラビナを使用して、安全ストロップの自由端をハーネスの接続ポイントのいずれかに取り付けます。これが第一接続ポイントです。



注意：安全ストロップは、必ずロープアイレットに取り付ける必要があります。

- 切断作業をする際には、自分が安定した安全な位置にいることを確認してください。

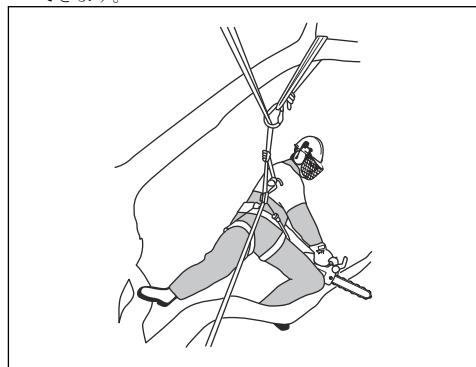
- 本製品を第二接続ポイントから放し、本製品を始動して切断作業を行います。
- 切断作業完了後、チェンブレーキを直接かけます。
- 本製品を停止し、第二接続ポイントに置きます。

本製品を樹上で操作する方法



警告：ほとんどの事故は、作業者が本製品を制御しきれなかったり、作業位置が不適切だったりに発生します。

- 安全な作業位置を確保します。
- 横方向の切断は腰の高さまで、縦方向の切断はみぞおちの高さまでにします。
- 本製品は両手で持ってください。
- 縦方に枝を切断するときは、足元が安定していることを確認し、横力を低く抑えます。別の固定ポイントで安全なラインを見つけ、横方向の力をなくすか、弱めるようにしてください。調整可能な環索で、ハーネスから直接別の固定ポイントを使用することもできます。

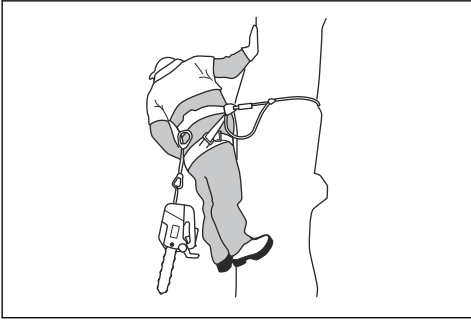


- 安全な作業位置を保つために足縄を使用してください。



- 定期的にハーネス、ベルト、ロープの状態を点検してください。

- 製品を持って木に登る必要がある場合、ハーネスの背面の固定ポイントに製品を取り付けます。背面の固定ポイントにより、本製品がクライミングラインを妨げないようにするとともに、本製品の重量を背骨下部の中央で支えることができます。





警告： 本製品を環策のほうへ降ろすときは、チェンブレイキをかけてください。

引っかかった製品を外す方法

1. 本製品を停止します。
2. 木の幹に対して切り口の中、または別のツールラインで、製品を安定させます。
3. 必要に応じて枝を持ち上げながら、切り口からチェーンソーを慎重に引き出します。



警告： 製品を力任せに引き抜こうとしないでください。重傷を負う危険があります。

4. 必要に応じて、ハンドソーまたは別のチェーンソーを使用して、本製品を外します。引っかかっている本製品から **30 cm (12 インチ)** 以上離れた枝を切断します。製品が引っかかっている場所から外側の端を切断します。

メンテナンス

はじめに



警告： 本製品のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

本製品に必要なメンテナンス手順のリストは以下のとおりです。参照： **メンテナンス 18** ページ詳細を確認してください。

メンテナンスのスケジュール



警告： メンテナンスを実行する前にバッテリーを外してください。

メンテナンス	毎回	毎週	毎月
本製品の外部部品を清掃してください。	X		
パワートリガーとパワートリガーのロック機能が、安全面から見て正しく作動することを確認します。	X		
チェンブレイキを清掃し、チェンブレイキが安全に動作することを確認します。チェンキャッチャーに損傷がないことを確認してください。必要に応じて交換します。	X		
均一に摩耗するように、ガイドバーを回転させます。ガイドバーの潤滑孔が詰まっていないことを確認します。ガイドバーのレール溝を清掃します。	X		
カッターとカッターガードにヒビがなく、損傷していないことを確認します。ヒビがある場合や、衝撃を受けている場合は、カッターやカッターガードを交換します。	X		
ガイドバーとソーチェーンに十分なオイルが注油されていることを確認します。	X		

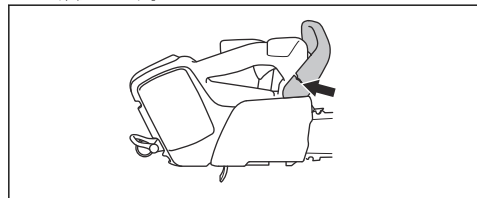
メンテナンス	毎回	毎週	毎月
ソーチェンを点検します。ヒビ割れがないか調べて、ソーチェンが粗くなっているか、異常に摩耗していないか確認します。必要に応じて交換します。	X		
ソーチェンを目立てします。ソーチェンの張り状態を点検します。ドライブスプロケットの摩耗を点検し、必要に応じて交換します。	X		
製品の給気口を清掃します。	X		
ネジとナットが確実に締められていることを確認します。	X		
ユーザーインターフェイスが正しく機能し、損傷がないことを点検します。	X		
ヤスリを使用して、ガイドバーの縁からすべてのバリを削り取ります。		X	
バッテリーと本製品の接続を確認します。バッテリーとバッテリー充電器の接続を確認します。			X
オイルタンクを空にして洗浄します。			X
製品とバッテリー冷却スロットに圧縮空気を慎重に吹き付けます。			X

製品の安全装置のメンテナンスと点検

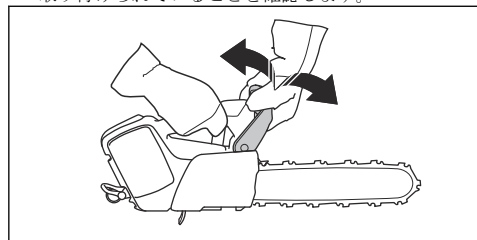
フロントハンドガードの点検方法

フロントハンドガードを定期的に点検してください。

1. フロントハンドガードに亀裂などの損傷がないことを確認します。



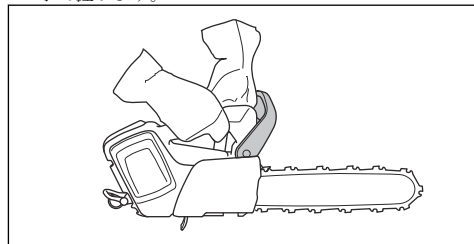
2. フロントハンドガードが自由に動き、製品に安全に取り付けられていることを確認します。



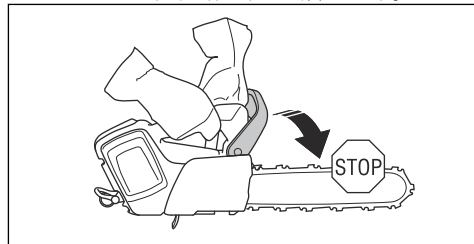
ブレーキトリガーを点検するには

1. 本製品を始動し、ソーチェンが地面やその他の物に触れないよう、注意してください。詳しくは、「本製品の始動方法 15 ページ」を参照してください。

2. 本製品をしっかりと保持してください。ハンドルを両手で握ります。



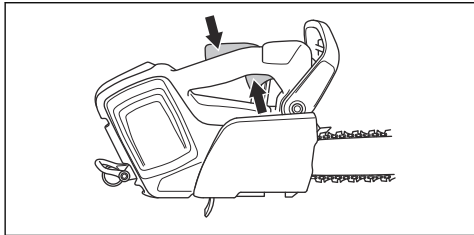
3. 最大出力にして、左手首を前に傾けてチェンブレイキをかけます。
4. ソーチェンがすぐに停止するか確認します。



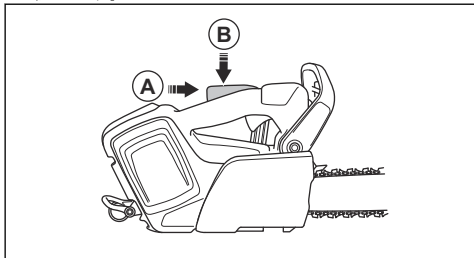
警告： このとき、フロントハンドルから手を放さないでください。

パワートリガーロックの点検

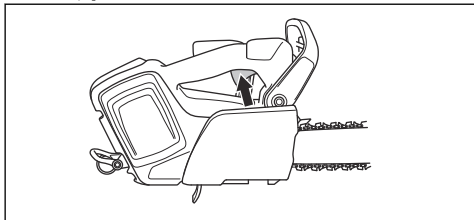
1. パワートリガーとパワートリガーロックがスムーズに動き、リターンズプリングが正しく機能することを点検します。



2. パワートリガーロックを前方 (A) に押してから、押し下げます (B)。パワートリガーロックをハンドルの方へ押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



3. パワートリガーロックを解放したとき、パワートリガーがアイドリングの位置になっていることを確認します。



4. 本製品を始動し、最大出力にします。
5. パワートリガーを解放し、ソーチェンの回転が停止して静止状態が保たれていることを確認します。

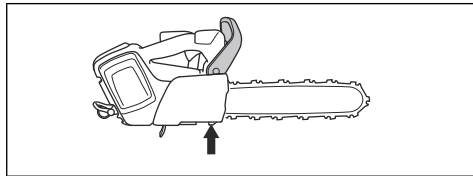


警告：パワートリガーがアイドリング位置にあるときにソーチェンが回転する場合は、サービス代理店にご連絡ください。

チェンキャッチャーを点検するには

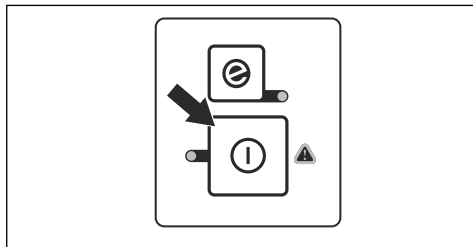
1. チェンキャッチャーが損傷していないことを確認してください。

2. チェンキャッチャーが安定し、製品本体に取り付けられていることを確認してください。



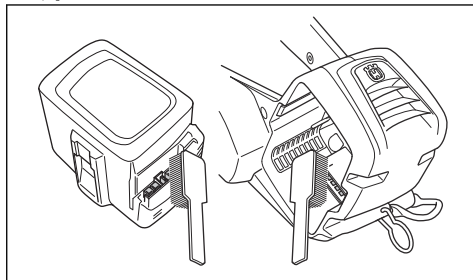
キーパッドを点検するには

1. 本製品を始動します。参照：本製品の始動方法 15 ページ
2. もう一度スタート/ストップボタンを押します。
3. ボタンを長押しすると、製品が停止することを確認してください。緑色の LED が消灯します。

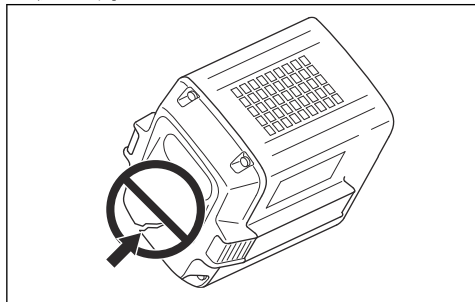


バッテリーとバッテリーホルダーの点検方法

1. バッテリーとバッテリーホルダーを柔らかいブラシで掃除します。
2. 冷却スロットとバッテリーコネクタを掃除します。

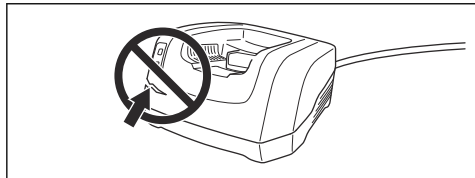


3. バッテリーにひびがなく、損傷していないことを確認します。



バッテリー充電器の点検

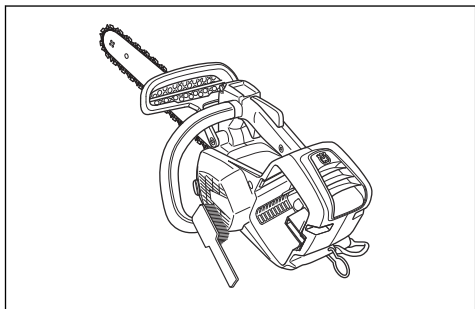
1. バッテリー充電器および電源ケーブルが破損していないことを確認してください。ヒビ割れやその他の損傷がないか調べます。



冷却システムを清掃するには

本製品には冷却システムが搭載されており、本体の温度を可能な限り低く保ちます。

冷却システムは、製品の左側にある空気取り込み口とモーターのファンで構成されます。



1. 必要に応じて、ブラシを使用して、週に 1 回以上冷却システムを清掃してください。
2. 冷却システムに汚れや詰まりがないことを確認してください。



注意：冷却システムに汚れや詰まりがあると、製品が過熱する原因になります。過熱によりピストンやシリンダが損傷することがあります。

ソーチェンを目立てするには

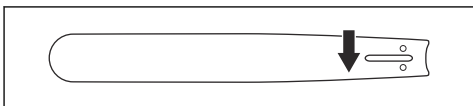
ガイドバーとソーチェンの詳細



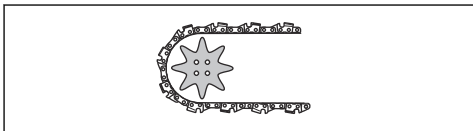
警告：ソーチェンを使用したりメンテナンスを実施したりするときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも怪我をする場合があります。

摩耗または損傷があるガイドバーやソーチェンは、Husqvarna 推奨のガイドバーとソーチェンの組み合わせで交換してください。これは、製品の安全機能を維持するために必要です。推奨される交換用ガイドバーとチェンの組み合わせリストについては、「アクセサリー 29 ページ」を参照してください。

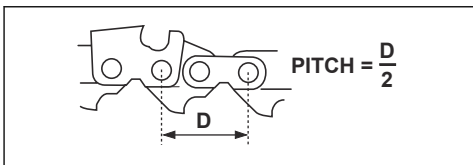
- ガイドバーの長さ (インチ/cm)。ガイドバーの長さに関する情報は、ガイドバーの後部に記載されています。



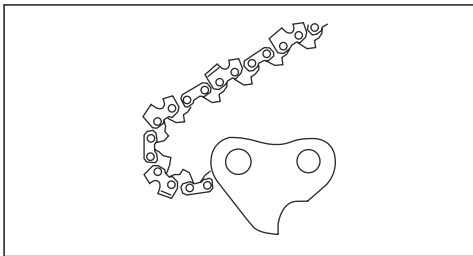
- ノーズスプロケットの歯の数 (T)。



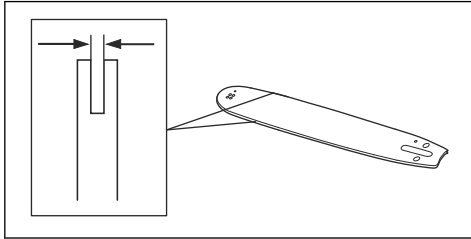
- チェンのピッチ (インチ)。ソーチェンのドライブリンク同士の間隔と、ノーズスプロケットの歯とドライブスプロケット間の間隔とが一致するようにしてください。



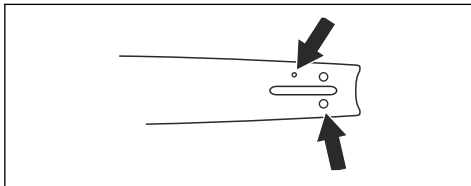
- ドライブリンクの数。ドライブリンク数は、ガイドバーの種類によって決定されます。



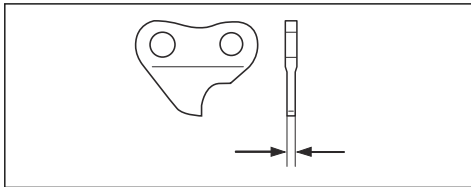
- ガイドバーのレール溝幅（インチ／mm）。ガイドバーの溝幅は、チェンドライブリンクの幅と同じにする必要があります。



- チェーンオイル孔とチェーンテンション孔。ガイドバーは製品と一致する必要があります。



- ドライブリンクの幅（mm／インチ）。

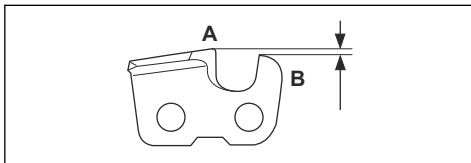


カッターの目立て方法に関する一般情報

刃先が丸くなったソーチェンは使用しないでください。ソーチェンの刃先が丸くなると、より大きな力をかけてガイドバーを木に押し込む必要があります。ソーチェンの刃先が非常に丸くなると、木片ではなく切りくずが出ます。

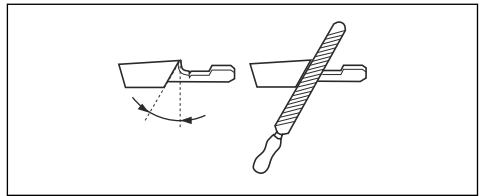
鋭いソーチェンを使用すると、抵抗なく木に切り込むことができ、長く厚い切りくずが出ます。

刃 (A) とデプスゲージ (B) は、ソーチェンの木を切る部分 (カッター) になります。刃とデプスゲージの高さの差が切断深度 (デプスゲージ設定) になります。

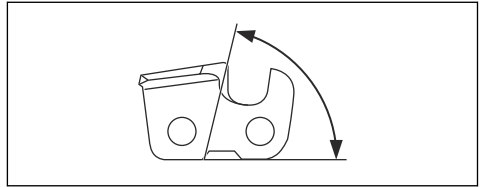


刃を目立てするときは、次のことを考慮してください。

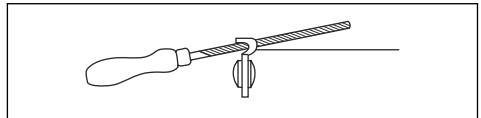
- 目立て角度。



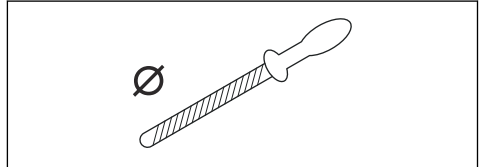
- 切削角度。



- ヤスリの位置。



- 丸ヤスリの直径。



ソーチェンの目立てを正しく行うには、適切な装置を使用する必要があります。Husqvarna 推奨の目立てゲージを使用してください。最高の切削性能を得ることができ、キックバックの危険も最小限に抑えられます。

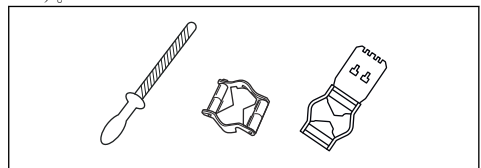


警告： 目立て手順に従わないと、キックバックの力が大きくなります。

注記： ソーチェンの目立ての詳細については、[刃の目立て方法 22 ページ](#)を参照してください。

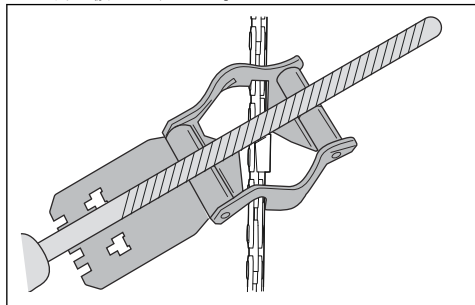
刃の目立て方法

- 丸ヤスリと目立てゲージを使用して刃を目立てします。



注記： Husqvarna が推奨するヤスリとゲージについては、目立て装置と目立て角度 29 ページを参照してください。

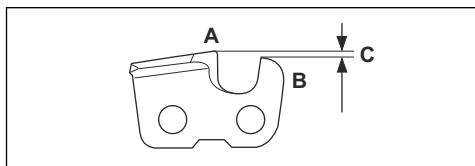
- 目立てゲージを刃に正しく当てます。目立てゲージに付属している説明書を参照してください。
- ヤスリを刃の内側から外側に動かします。引くときは力を抜いてください。



- すべての刃の片側にヤスリをかけます。
- 本製品をひっくり返して、反対側の刃にヤスリをかけます。
- すべての刃が同じ長さであることを確認してください。

デブスゲージ設定の調整方法に関する一般情報

刃 (A) の目立てを行うと、デブスゲージ設定 (C) が低くなります。切断性能を最良の状態に保つには、推奨されるデブスゲージ設定に達するまで、デブスゲージ (B) に合わせてヤスリをかける必要があります。お使いのソーチェンに適した正しいデブスゲージ設定について詳しくは、「目立て装置と目立て角度 29 ページ」を参照してください。

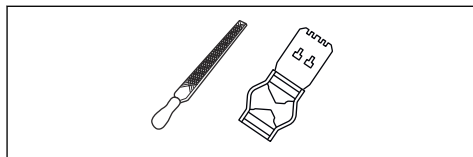


警告： デブスゲージの設定が高すぎると、キックバック発生の危険性が高まります。

デブスゲージの設定を調整するには

デブスゲージ設定の調整、または刃の目立てを行う前に、刃の目立て方法 22 ページで手順を参照してください。デブスゲージ設定の調整は、刃の目立てを 3 回行うごとに 1 回の割合で行うことを推奨します。

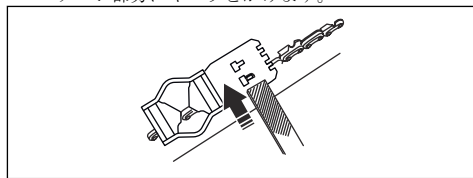
デブスゲージの設定を正しく行い、デブスゲージの角度を調整するために、デブスゲージツールの使用を推奨します。



- 平ヤスリとデブスゲージツールを使用して、デブスゲージ設定を調整します。必ず Husqvarna 推奨のデブスゲージツールを使用して、デブスゲージの設定を正しく行い、デブスゲージの角度を調整してください。
- デブスゲージツールをソーチェンに置きます。

注記： デブスゲージツールの使用方法については、ツールのパッケージを参照してください。

- 平ヤスリで、デブスゲージツールから突き出たデブスゲージ部分にヤスリをかけます。



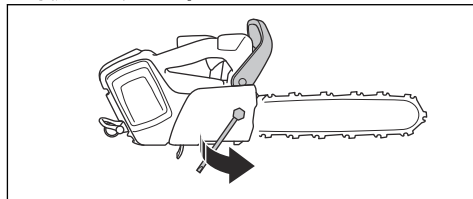
ソーチェンの張りの調整方法



警告： ソーチェンに適切な張りがないとガイドバーから外れることがあり、重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

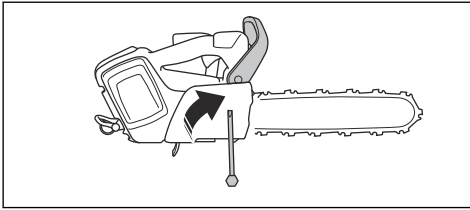
ソーチェンは、使用するにつれ長くなってきます。ソーチェンは定期的に調整してください。

- ドライブスプロケットカバーとチェンブレイキを保持しているバーナットを緩めます。コンビレンチを使用してください。

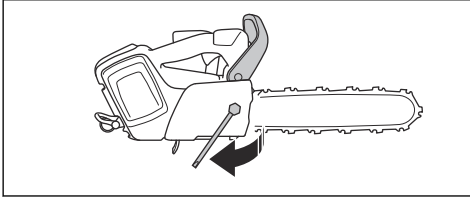


- ガイドバーの前を持ち上げて、チェン張りネジを回します。コンビレンチを使用してください。

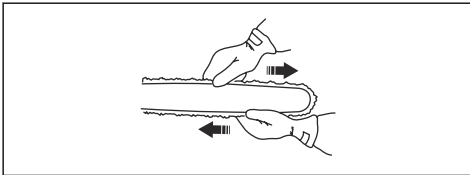
3. ガイドバーにソーチェンをしっかり取り付けます。



4. コンビネーションレンチを使用してバーナットを締め込むと同時にガイドバーの前方を持ち上げます。



5. ソーチェンを手で自由に回せること、ガイドバーの下側にたるみがないことを確認してください。



注記： 製品のチェンの張り調整ネジの位置については、「製品の概要 2 ページ」を参照してください。

ソーチェンの潤滑状態を点検するには

バッテリー充電 3 回ごとにソーチェンの潤滑状態を点検します。

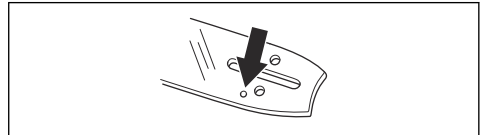
1. 本製品を始動し、最高速度で運転します。色が薄い場所の上、約 20 cm (8 インチ) の高さでバーを保持します。

2. ソーチェンの潤滑状態が良好な場合、1 分未満で透明なオイルの線が確認できます。

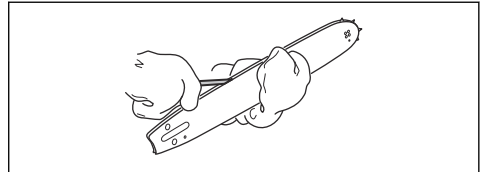


3. ソーチェンの潤滑状態が不良な場合、次のことを点検してください。

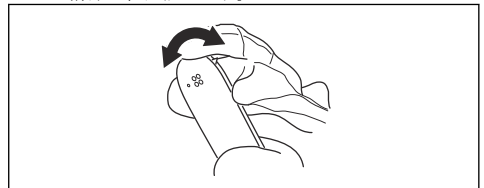
- a) ガイドバーのオイル孔が詰まっているかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



- b) ガイドバーの端にある溝が汚れていないかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



- c) ガイドバーのノーズスプロケットがスムーズに回転するか、またスプロケットのオイル孔が詰まっているかどうか点検します。必要に応じて清掃し、注油します。

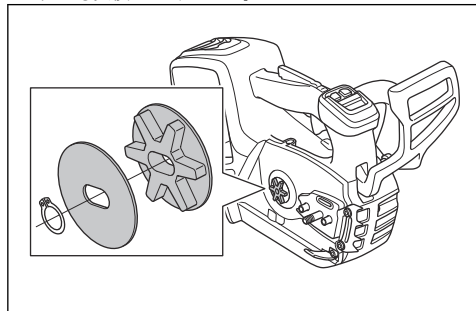


4. 上記の手順を実行してもソーチェンの潤滑状態が改善しない場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

チェンドライブスプロケットを点検するには

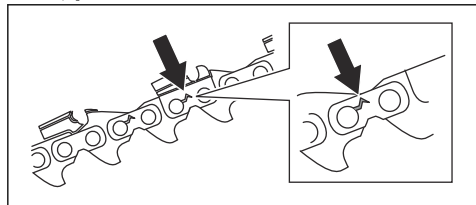
- ドライブスプロケットに磨耗がないか点検します。必要に応じてドライブスプロケットを交換します。

- ソーチェンを交換する度にチェンドライブスプロケットも交換してください。

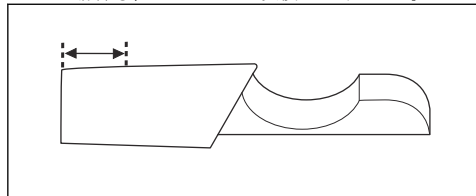


カッティング装置の点検

1. リベットやリンクに亀裂がないこと、リベットが緩んでいないことを確認します。必要に応じて交換します。

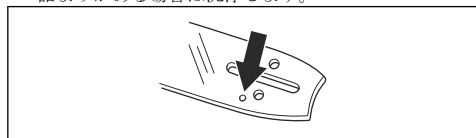


2. ソーチェンが簡単に曲がることを確認します。曲がらない場合はソーチェンを交換します。
3. リベットやリンクが摩耗していないかどうか、ソーチェンを新しいソーチェンと比べます。
4. 刃の最長の部分が 4 mm (0.16 インチ) 未満の場合、ソーチェンを交換してください。カッターに亀裂がある場合も、ソーチェンを交換してください。

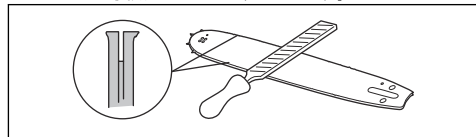


ガイドバーを点検するには

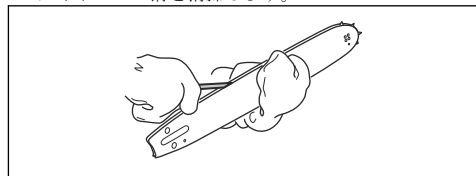
1. オイル孔に詰まりがないことを確認してください。詰まりがある場合は洗浄します。



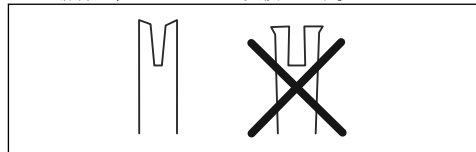
2. ガイドバーの縁にバリがないかどうかを調べます。ヤスリを使用してバリを除去します。



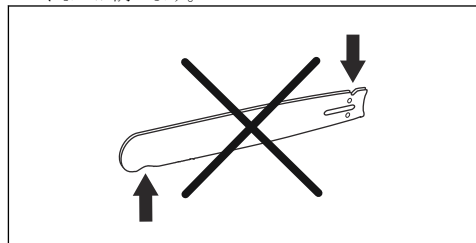
3. ガイドバーの溝を清掃します。



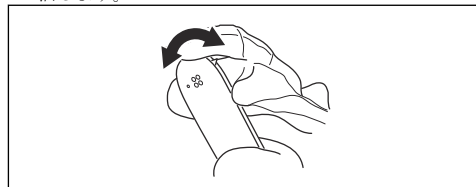
4. ガイドバーの溝に摩耗がないか調べます。摩耗がある場合は、ガイドバーを交換します。



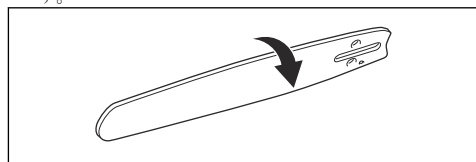
5. ガイドバー先端が粗くなっていないか、摩耗がひどくないか調べます。



6. ガイドバーのノーズスプロケットがスムーズに回転することと、スプロケットのオイル孔が詰まっているかどうか点検します。必要に応じて清掃し、注油します。



7. 寿命を延ばすために、ガイドバーは毎日回転させます。



トラブルシューティング

キーパッド

製品のキーパッドに表示される不具合コード。

LED 表示	想定される障害	対応措置
警告インジケータが点滅。	チェンブレイキがかかっている。	フロントハンドガードを後方へ引いて、チェンブレイキを解放します。
	温度の逸脱。	製品が冷えるまで待ちます。
	過負荷。カッティングアタッチメントが詰まっている。	カッティングアタッチメントが詰まっています。カッティングアタッチメントを解放してください。
	パワートリガーと作動ボタンが同時に押されている。	パワートリガーを放すと、本製品は作動状態になります。
緑色の LED が点滅。	バッテリー電圧が低い。	バッテリーを充電してください。
警告インジケータが点灯。	サービス。	サービス代理店にお問い合わせください。

バッテリー

問題	想定される障害	解決方法
緑色の LED が点滅。	バッテリー電圧が低い。	バッテリーを充電してください。
赤いエラー LED が点滅。	バッテリーは空です。	バッテリーを充電してください。
	温度の逸脱。	バッテリーは -10～40°C（14～104°F）の温度で使用してください。
	過電圧。	バッテリー充電器からバッテリーを外します。
赤いエラー LED が点灯。	電池の電位差が大きすぎる（1 V）。	サービス代理店にお問い合わせください。

バッテリー充電器

LED 表示	想定される障害	対応措置
警告インジケータが点滅。	温度の逸脱。	バッテリーは 5°C ～ 40°C の温度環境で使用してください。
警告インジケータが点灯。		サービス代理店にお問い合わせください。

搬送、保管、廃棄

搬送と保管

- ・ 同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。
- ・ 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。
- ・ 本製品を送送する前に、危険物に関して特別な訓練を受けた担当者にご相談ください。該当するすべての国内規制に従ってください。
- ・ バッテリーを梱包するときは、露出している端子にテープを貼ってください。バッテリーを固定し、動かないように梱包してください。
- ・ 保管するときや搬送時はバッテリーを外してください。
- ・ バッテリーとバッテリー充電器は、乾燥して湿気や霜がない場所に置いてください。
- ・ 静電気が発生する可能性のある場所に本製品を保管しないでください。バッテリーは金属製の箱に保管しないでください。
- ・ バッテリーは温度が $5\sim 25^{\circ}\text{C}$ ($41\sim 77^{\circ}\text{F}$) の場所に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- ・ バッテリー充電器は温度が $5\sim 45^{\circ}\text{C}$ ($41\sim 113^{\circ}\text{F}$) の場所に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- ・ バッテリー充電器は、周囲温度が $5^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ の場合にのみ使用してください。
- ・ バッテリーを長期間保管するときは、充電量を $30\sim 50\%$ にしてください。
- ・ バッテリー充電器は、密閉した乾いた場所に保管してください。
- ・ バッテリーの保管中は、バッテリー充電器から遠ざけてください。子供や許可されていない他の人が機器に触れないようにしてください。施錠できる場所に装置を保管してください。
- ・ 製品を長期間保管する場合は、その前に製品を清掃し、よく点検しておいてください。
- ・ 搬送中および保管中に製品が傷ついたり損傷したりしないように、製品の移動用ガードを使用してください。
- ・ 搬送中は製品をしっかりと固定してください。

バッテリー、バッテリー充電器、および製品の廃棄

以下のマークは、本製品が家庭ゴミではないことを示しています。電気・電子機器のリサイクル業者にリサイクルを依頼してください。これは、環境および人への被害を防止するためです。

詳細については、自治体の担当部局、家庭ゴミ収集業者、または販売店にお問い合わせください。



注記： マークは、製品または製品の容器に表示されています。

主要諸元

主要諸元

	T535i XP
モーター	
タイプ	BLDC（ブラシレス） 36 V
特長	
低エネルギーモード	SavE
潤滑システム	
オイルポンプの型式	全自動
オイルタンク容量、L/cm ²	0.20/200
質量	
チェンソー（バッテリー、ガイドバー、ソーチェンなし、チェンオイルタンクが空）、kg	2.5
防水レベル	
IPX4	はい
騒音排出 ¹	
実測音響レベル dB（A）	104
保証音響レベル L _{WA} dB（A）	106
サウンドレベル ²	
使用者聴覚での等価騒音レベル、dB（A）	93
振動レベル ³	
フロントハンドル、m/s ²	2.3
リヤハンドル、m/s ²	3.2
等価振動レベル ⁴	
フロントハンドル、m/s ²	1.9
リヤハンドル、m/s ²	2.7
ソーチェン／ガイドバー	

¹ 環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワー（L_{WA}）として測定。

² 等価騒音レベルは ISO 22868 に則し、さまざまな作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算されます。等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつきは、1 dB（A）の標準偏差となります。

³ 振動レベルは EN 62841-4-1 に準拠。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は、1 m/s² です。正しい長さのガイドバーと推奨チェンタイプが取り付けられた製品を測定したときの公称振動データです。異なる長さのガイドバーが製品に取り付けられている場合、振動レベルは最大 ± 1.5 m/s² まで変化する可能性があります。

⁴ 等価振動レベルは、燃焼機関駆動のチェンソー用に測定、計算されたものです。これらの数値は、エンジンのタイプとは無関係に振動データを比較できるよう、ISO 22867:2011 に基づいて算出されています。

	T535i XP
推奨のガイドバーの長さ、インチ／cm	10 ～ 14/25 ～ 35
切断できる長さ、インチ／cm	9 ～ 13/23 ～ 33
ドライブスプロケットの種類、歯数	Spur/7
最大チェン速度／（SavE）、m/s	20（15）

アクセサリー

ガイドバーとソーチェンの組み合わせ

Husqvarna T535i XP の使用が認可されているカッティングアタッチメントは次のとおりです。

ガイドバー				ソーチェン	
長さ、インチ	チェンピッチ、インチ	ゲージ、mm	最大ノーズ半径	タイプ	長さ、ドライブリンク（数）
10	0.325 ミニ	1.1	8T	Husqvarna SP21G	46
12					51
14					59
10	1/4 ミニ	1.1	8T	SP11G	60
12					68

キックバックについて

ガイドバーのノーズ半径は、ノーズスプロケットの歯の最大数、または対応するソリッドバーの最大ノーズ半径のいずれかによって決定されます。

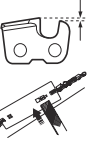
リスト記載の数値はガイドバーの最大ノーズ半径です。リストの値より小さいノーズ半径のガイドバーもお使いいただけます。同じ長さのガイドバーの場合、同じピッチで、同じ数のスプロケットの歯を持つすべてのスプロケットノーズガイドバーは、同等のキックバックエネルギーがあると見なすことができます。

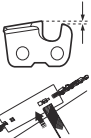
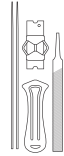
次のカッティング装置は、モデル Husqvarna T535i XP 用として認可されています。

目立て装置と目立て角度

Husqvarna の目立てゲージを使用すると、正しい目立て角度が分かります。ソーチェンの切れ味を回復させるには、常に **Husqvarna** の目立てゲージを使用することを推奨します。部品番号を次の表に示します。

お使いの製品のソーチェンがわからない場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

							
SP11G	9/64 インチ ／3.5 mm	60°	30°	0°	0.016 インチ ／0.4 mm	5299371/01	5299371/01

							
SP21G	5/32 インチ/ 4.0 mm	60°	30°	0°	0.025 イン チ/0.65 mm	5950046-01	5950047-01

認可されたバッテリー

バッテリー	BLI200	40-B220X
タイプ	リチウムイオン	リチウムイオン
バッテリー容量 (Ah)	5.2	6.0
公称電圧、V	36	36
質量、kg	1.3	1.4

認可されたバッテリー充電器

バッテリー充電器	QC330
入力電圧、V	100/240
周波数、Hz	50/60
電力、W	330

適合宣言

EU 適合宣言

ハスクバーナ社 (Husqvarna AB, SE-561 82 Huskvarna, Sweden、電話番号: +46-36-146500) は、単独責任のもとで、以下の製品の適合を宣言します。

名称	林業用コードレスバッテリーチェーンソー
ブランド	Husqvarna
タイプ/モデル	T535i XP
ID	2022 年以降の製造番号

が以下の EU 指令および規制を完全に順守し、

規制	名称
2006/42/EC	「機械類に関する」
2014/30/EU	「電磁環境適合性に関する」
2011/65/EU	「電気・電子製品に含まれる特定有害物質の使用制限に関する」
2000/14/EC	「環境への騒音排出に関する」

および以下の規格または技術仕様が適用されています。
IEC 62841-1:2014, EN ISO 11681-2:2011/A1:2017, EN 62000-6-1:2007, EN 61000-6-3:2007+A1:2011, EN 63000:2018, 55014-1:2017。



証明書番号: 0404/19/2523, 01/162/003

公認機関 0404: RISE SMP, Svensk Maskinprovning AB, Box 4053, SE-904 03 Umeå, Sweden が機械指令 (2006/42/EC) の条例 12、項目 3b に基づき EC タイプコントロールテストを実施しました。

また、0404、RISE SMP, Svensk Maskinprovning AB, Box 4053, SE-904 03 Umeå, Sweden が評議会指令 2000/14/EC 適合性評価補足 V の準拠を確認しました。

騒音排出に関する詳細: 主要諸元 28 ページ。

Husqvarna, 2022-12-28

Stefan Holmberg、研究開発責任者、技術管理、ハスクバーナ社

正式代表兼技術文書担当



www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1144064-79



2024-06-11